



2018年12月4日

各位

会社名 大陽日酸株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 市原 裕史郎
(コード: 4091 東証第一部)
問合せ先 広報・IR部長 於勢 久卓
(TEL 03-5788-8015)

公募ハイブリッド社債（公募劣後特約付社債）の発行に関するお知らせ

当社は、本日、公募形式によるハイブリッド社債（劣後特約付社債）（以下、本社債）の発行に関する、訂正発行登録書を関東財務局長に提出いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 本社債発行の目的及び背景

当社は、2018年12月3日付「米国 Praxair, Inc. 社の欧州事業の取得（子会社化）手続き完了に関するお知らせ」にて公表した通り、Praxair の欧州事業の一部（ドイツ・スペイン・ポルトガル・イタリア・ノルウェー・デンマーク・スウェーデン・オランダ・ベルギーの産業ガス事業、英国・アイルランド・オランダ・フランスにおける炭酸ガス事業、及びヘリウムに関連する事業）を運営する法人の株式を取得いたしました。

本買収を実行する上で、2018年7月5日付け「米国 Praxair, Inc. 社の欧州事業の取得（子会社化）に関するお知らせ」にて公表した通り、株式希薄化による資本効率低下を回避しつつ、財務健全性の維持に資する資金調達手段として、ハイブリッド社債（劣後特約付社債）及びハイブリッドローン（劣後特約付ローン）を検討しておりましたが、そのうち本社債について発行を決定いたしました。

2. 本社債の特徴

本社債は、資本と負債の中間的な性質を持ち、負債であることから株式の希薄化は発生しない一方、利息の任意繰延、超長期の償還期限、清算手続及び倒産手続における劣後性等、資本に類似した性質及び特徴を有しております。このため、当社では格付機関（株式会社日本格付研究所及び株式会社格付投資情報センター）より資金調達額の50%に対して資本性の認定を受けられることを見込んでおります。

3. 今後のスケジュール

本社債については、みずほ証券株式会社を事務主幹事として、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、野村證券株式会社を共同主幹事として起用し、需要状況を見ながら、2019年1月に発行金額等の条件を決定する予定であり、決定次第すみやかにお知らせいたします。

また、本社債による資金調達に加えて、本社債と同等の資本性を有するハイブリッドローンによる資金調達も検討しております。本社債とハイブリッドローンによる今回のハイブリッドファイナンス全体の調達金額は、現時点では総額2,500億円程度を目途としておりますが、最終的な調達金額は需要状況や金利動向等の諸般の事情を総合的に勘案した上で決定する予定です。

なお、本社債とハイブリッドローンによって調達した資金は、Praxair の欧州事業の一部を取得する際に調達したブリッジローンの弁済の一部に充当する予定です。

以上

この文書は、当社の公募ハイブリッド社債（公募劣後特約付社債）の発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、一切の投資勧誘またはそれに類似する行為のために作成されたものではありません。また、この文書は、米国1933年証券法（以下、米国証券法）上の米国における証券の募集行為ではありません。本社債は米国証券法に基づき登録されておらず、また登録される予定もありません。米国証券法に基づいて登録を行うかまたは登録の免除を受ける場合を除き、米国における本社債の募集または販売を行うことはできません。本件は、日本における当社の社債の発行であり、本社債については、米国における証券の募集または販売は行われません。